

2022 年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2022 年度後期				2021 年度後期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	65	65	308	292	66	65	296	207
非常勤	50	48	79	76	53	48	91	74
総合計	115	113	387	368	119	113	387	281

※看護学部実習科目については、別アンケートを実施しています

【属性】

アンケートに答えた学生（延べ回答者数）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	629 名	14.0%
	公共政策学科	470 名	10.5%
経営学部	スポーツ経営学科	1672 名	37.2%
	情報メディア学科	865 名	19.2%
看護学部		858 名	19.1%
計		4494 名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1 年次	1789 名	39.8%
2 年次	1542 名	34.3%
3 年次	937 名	20.9%
4 年次	207 名	4.6 %
5 年以上	19 名	0.4%
計	4494 名	100.0%

学部学科別人数・回答率			
学 科	受講人数	回答人数	回答率
経済学科	2006 名	629 名	31.4%
公共政策学科	1383 名	470 名	34.0%
スポーツ経営学科	5500 名	1672 名	30.4%
情報メディア学科	2559 名	865 名	33.8%
看護学部	2011 名	858 名	42.7%
計	13459 名	4494 名	33.4%

$$\text{延べ回答者数} / \text{延べ受講者数} = \text{回答率}$$

$$4,494 / 13,459 = 33.4\% \quad (2021 \text{ 年度後期} : 9.7\%)$$

【授業アンケートの実施率と回答率】

○教員数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施教員数／アンケート対象教員数）は 98.3%（＝113/115）で、昨年度後期 95.0%（＝113/119）より上昇し、前回（今年度前期）98.3%（＝116/118）と同水準であった。うち、専任教員は 100.0%（＝65/65）、非常勤教員は 96.0%（＝48/50）である。特に専任教員は、授業アンケートの依頼に協力していただいたことが分かる。

○講義数でみた授業アンケート実施率（＝アンケート実施講義数／アンケート対象講義数）は 95.1%（＝368/387）で、昨年度後期 72.6%（＝281/387）より大幅に上昇し、前回（今年度前期）96.4%（＝268/278）よりやや低下した。うち、専任教員の講義は 94.8%

(=292/308)、非常勤の講義は 96.2% (=76/79) である。講義内で教員からの授業アンケートの依頼が概ね周知されていたと言える。なお、後期講義数が前期講義数より 100 以上増加するのは、演習などの通年科目が、後期授業アンケートの対象になるからである。また、専任教員数でみた授業アンケート実施率よりも専任教員講義数でみた授業アンケート実施率が低下するのは、少なからず少人数講義があることに起因する。

○学生の回答率(=延べ回答者数/延べ受講者数)は 33.4%であり、昨年度後期 9.7%より大幅に上昇し、前回(今年度前期) 42.8%から 9.4%低下した。遠隔授業を実施している中でのアンケート実施と対面授業を実施している中でのアンケート実施では、2021 年度後期の回収率が特に低かったことを除けば、その回収率に大きな増減はなく、**アンケート実施期間の授業形態が回収率に影響することはない**と考えられる。

○アンケート収集方法がオンラインになってからも、一定水準の回答率を維持しているのは、前述の教員による協力もさることながら、**教務課が学生ポータルを通じて、適宜アンケート依頼を行っている**ことである。今後も、学生ポータル等を通じてアンケート依頼を複数回行うことを継続していく。

○学生の回答率がそれでも 33.4%に留まることは課題である。さらなる改善が求められ、教授会やメール等での教員への協力依頼、学生ポータル等を通じたアンケート依頼の継続が必要である。そのため、今回のアンケート回収状況の分析を行うことが肝要である。

○上述のような課題があるとしても、アンケートのオンライン実施は継続する。ペーパーレス化、学生のデジタル化への対応や、匿名性を保持しつつ回答者を GPA や入学時入試種別と紐づけることで、「成績上位者は〇〇の点に不満を持っている」といった分析などが可能となる。本学での **IR 活動の本格化**が期待されるが、**授業アンケート結果はそのローデータとして意義がある**。

授業アンケートの設問 1.~11. (「授業評価アンケート設問 2022」参照) の回答状況については「2022 後期授業アンケート全体集計」を参照されたい。以下、一部に前回(今年度前期)との比較を示して補足する。

設問 4.【板書・パワーポイント・資料は分かりやすいか(読みやすいか)】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 71.2%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.8%を上回っている。前回アンケートの結果(「分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 71.1%、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 12.4%)と比較すると、肯定的評価は同水準、否定的評価が微減となっている。

○自由記述では、「パワーポイントが見やすかった」「板書がすごくわかりやすい」「講義資料が赤字で書かれている部分もあって分かりやすい」「スライドと資料の重要なところに線が引いてあり、図も載っているため、わかりやすい」「資料が teams に掲載されていて、いつでも確認できる」「学生が理解しにくそうなところを先生自身が把握しており、そこを理解しやすいようにレジュメが構成されていた」などの肯定的な感想が多い。これに対して、「黒板の字が汚い」「スライドの修正が多い」「プリントの枚数を減らした方がいい」などの否定的な感想も散見された。各教員はこの感想を見ているはずであり、是非、真摯に改善してほしい。

設問 5.【教員の話し方・説明は分かりやすいか】

○「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 75.3%であり、「とても分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 11.4%を上回っている。前回のアンケートの結果（「とても分かりやすい」「やや分かりやすい」と回答した割合は 73.8%、「分かりにくい」「やや分かりにくい」と回答した割合 12.0%）と比較すると、改善されている。

○自由記述では、「とても分かりやすく聞きとりやすい」「分かりやすい説明で理解することができた」「先生の話し方は、頭に入りやすくて、たのしかった」「分からない重要語句を分かりやすく丁寧に解説していた」などの肯定的な感想が多い。これに対して、「声が小さい」「はっきり話してほしい」などの不満が依然としてある。各教員はこの感想を見ているはずであり、是非、真摯に改善してほしい。

設問 6.【授業内容がどの程度理解できるか】

○「とても良く理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は 78.8%であり、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合 7.0%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても理解できる」「ある程度理解できる」と回答した割合は 76.1%、「全く理解できない」「あまり理解できない」と回答した割合 7.2%）と比較すると、肯定的評価は 2.7%上昇し、否定的評価は微増となっている。

○自由記述では、「小テストがあったため理解度の確認ができた」という授業方法に関するものと、「先生の熱意が特に感じられ、理解も進んだ」などの教員の姿勢に関するものに大別されるが、前者の比率が高い。特に、授業冒頭で行う“前回授業の振り返り”や、授業内で説明される“他の授業内容との繋がり”に関する肯定的な感想が多い。小テスト（確認テスト）に対する否定的な意見は皆無であり、自己の理解が進む点で、小テスト（確認テスト）の実施は、「確認テストがあって理解を深めることができた」など、学生から高く評価されている。これに対して、「授業内容が分かりにくい」「全く理解できない」などの不満も散見される。理解できていない点はどこなのかを把握するなど、学生とのコミュニケーションが不足していることが原因ではないかと、自由記述から読み取れる部分があった。

設問 7.【授業に集中するための環境（私語、遅刻、途中退室が無い状況等）は保たれているか】

○「とてもよく保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 85.6%であり、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 3.4%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても保たれている」「ある程度保たれている」と回答した割合は 84.1%、「全く保たれていない」「あまり保たれていない」と回答した割合 3.3%）と比較すると、改善している。

○自由記述では、「私語をする人達がいなく授業に集中できた」などの肯定的な感想が目立った。私語に対する教員の厳しさが求められていることが分かる。これに対して、「授業の雰囲気は常にガヤガヤしていて悪く・・・」などの不満が一部にあった。

設問 8.【授業に意欲的に参加したか】

○「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は 84.9%であり、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合 3.4%を上回っている。前回アンケートの結果（「とても意欲的である」「ある程度意欲的である」と回答した割合は 84.4%、「全く意欲的でない」「あまり意欲的でない」と回答した割合 3.4%）と比較すると、同水準である。

○自由記述では、「毎回、課題があることで意欲的に取り組めた」「質問に何度行っても丁寧に答えて頂いたので意欲的に学ぶことができた」など肯定的な感想があった。これに対して、「(シラバスの記載と違う方法で進められ)成績評価に反映されていないので、意欲がなくなった」などの不満があった。また、学生ポータルでの出席確認の方法に関し、「キーワードが日付だったため、真面目に出席している人もいる中、出席していない人が出席扱いされている」「家にいる人でもキーワードで出席となっていた」との指摘があった。一方で、「人数が多いのにも関わらず、点呼での出席確認で大変時間がかかる。ポータルに変更して欲しい」との意見もあった。

設問 9.【授業に参加してどのように感じているか】

○「とても満足」「やや満足」と回答した割合は 78.7%であり、「とても不満」「やや不満」と回答した割合 5.0%を上回っている。前回アンケートの結果（「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した割合は 77.2%、「非常に不満」「やや不満」と回答した割合 5.6%）と比較すると、改善している。

○自由記述では、「将来に役立つ内容が学べて満足」「積極的に授業に取り組みやすく、身についたことはとても満足」「重点的な箇所を集中して学習することができたのでよかった」などの肯定的な感想が多い。授業内容よりは、授業方法に関する肯定的な感想が多いのが特徴である。これに対し、「生徒を見下すような態度が不愉快」「当てられて答えられなかったらぐちぐち言うてくるのは止めてください」「態度が横柄」「できない子なりに頑張っている子もいます。生徒にも心があることを忘れないでください」など、教員態度を不満に感じている意見が、10 件ほどあった。

設問 10.【予習・復習を毎回平均してどの程度行っているか】

○「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計、すなわち予習・復習を行っている割合は 66.3%であり、「ほとんどしない」と回答した割合は 33.7%であった。前回アンケートの結果（「1 時間以上」「30 分～1 時間程度」「30 分未満」と回答した割合の合計は 67.6%、「ほとんどしない」と回答した割合は 32.4%）と比較すると、同水準である。

○「ほとんどしない」と回答した学科間割合は、看護学科（23.7%）、情報メディア学科（24.4%）、経済学科（29.1%）、公共政策学科（35.1%）スポーツ経営学科（45.0%）である。ほとんど予習・復習を行っていない割合が多い学科は、学科会議等で対応されたい。

設問 11.【学生の理解を確認しながら授業が進められているか】

○学生の理解が「確認されていない」と回答した割合は約 8.3%であり、前回アンケートの結果 7.7%より上昇した。複数回答可の選択においては、「小テストや課題」（33.7%）や

「前回の振り返り」（33.6％）による理解確認の方法が多かった。

○「小テストや課題」「前回の振り返り」が、設問 6.【授業内容がどの程度理解できるか】、設問 8.【授業に意欲的に参加したか】、設問 9.【授業に参加してどのように感じているか】の評価に関係することが、自由記述から読み取れる。

以 上